

会 議 録

会議等名	平成30年度第1回富士見市歯科口腔保健推進委員会
開催日時	平成30年8月1日(月)午後1時30分～3時00分
開催場所	富士見市立市民総合体育館 3階 多目的室
出席者名	<p>委員：小柳 聡委員長、三木 とみ子副委員長、 伊垣 容子委員、大里 信子委員、 日下部 菜穂美委員、是永 國彦委員、渋谷 善行委員、 長堀 厚子委員、原田 由美子委員、松田 順子委員 武藤 敦委員</p> <p>事務局：大森健康福祉部長、望月健康増進センター所長、 山崎健康増進センター副所長、矢島健康づくり支援係主査 村井母子保健係主査、小林保健予防係主査、担当：駒林、松倉、小畑</p>
欠席者名	委員：増田 義則委員
傍聴者	0名
議事内容	
<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ(小柳委員長よりあいさつ)</p> <p>3 議事</p> <p>(富士見市歯科口腔保健推進委員会条例 第6条第2項により、委員の過半数の出席があるので、本日の委員会が成立することを報告された。)</p>	
(1) 歯と口腔の健康に関する事業の取組み状況について	
事務局 委員長 委員 委員長	<p>資料説明</p> <p>歯と口腔の健康に関する事業の取組状況について、意見があれば伺いたい。平成29年度からの取組としては、口腔がん検診を始めたことがある。昨年度より「歯と口の健康フェア」で口腔がん検診を始めた。平成29年度69名の方が受診され、8名の方が前がん状態ということで、精密検査を紹介した。平成30年度においては、約140名が受診した。そのうち9名が精密検査となった。口腔がんはすい臓がん等よりも実は罹患率が高いこともあり、歯科医師会としては、1年に1度だけではなく、個別に対応できるようにしたいと考えている。口腔がん検診の精密検査は大学病院で行っており、今提携しているのが、防衛医科大学と日大板橋病院である。</p>
委員	「歯と口の健康フェア」で歯科健診は予約なしで行っているが、口腔がん検診は予約制なのか。
委員長 委員	専門の先生に2名来てもらい実施しているため、事前予約制で行っている。知人が口腔がんで手術を受けた際、顔が歪んでしまって、心が大きくダメージを受けてしまったと聞いた。

委員長	その前の段階で見つけられるよう口腔がん検診を行っている。50歳以上が対象である。
副委員長 事務局 委員長	50歳以上の方には口腔がん検診の機会があったらいいと思う。歯科医師会から市に要望書が提出されている。しっかりと検討していきたい。ありがとうございます。受け皿として、歯科医の検診する力も上げなければならない。できればあと2、3年後には個別でできるレベルにもっていきたいと考えている。
副委員長 委員長	「歯と口の健康フェア」と「健康まつり」はちがうのか。 「歯と口の健康フェア」は歯科医師会が主催で、毎年、6月の第1週の日曜日に開催。「健康まつり」は健康増進センターが主催で歯科医師会薬剤師会等が協力という形で開催している。
委員	市民に対しては、「歯と口の健康フェア」や「健康まつり」で歯の健康に対するものがあるとの話であるが、学校でも健診を行っている。取組としては、健診後、要治療者に通知を出すのだが、健康な歯を見直すように学校でも取組んでいきたい。
委員長	現在、小学校では全校で歯科衛生士会によるブラッシング指導が行われているが、中学校では6校中1校、西中学校でのみ実施されている。小学生のうち、保護者が仕上げ磨きをする習慣があるが、中学生を仕上げ磨きするというのはなかなかないと思う。中学生は統計的にも虫歯が多くなっていく年代であり、西中学校では2年生で実施しているが、他校でも実施できたら、と思っている。
副委員長 委員長 委員	給食のあと、歯磨きはしているのか。 歯磨きは各自に任せられている。 小学校では歯磨きタイムというのを設けて行っているが、中学校ではやはり個人に任せられている。
副委員長	小学校の時に、自己管理で歯磨きをできる子を育てるとするのが大切になってくるのだと考える。
委員 委員長	西中学校では指導していて、他の学校が行っていないのはなぜか。 中学生は授業時間との兼ね合いや歯科衛生士派遣のための予算等の課題があり、なかなか実施が難しい。しかし、1時間程度なので、その枠を作ってもらいたい、とここ2～3年言っている。
委員	こどもが大学生になってしまうと、健診すら受けない状況になってしまう。大きくなると親の言うことを聞かなくなってしまう。そのため、小・中学校、それよりももっと前の幼稚園・保育園の時から、歯磨きの練習を積み重ねていけたら、良いと考える。地域で育てている中学生までの間に、身に着けられるような機会を与えたいと考える。
委員 事務局	妊産婦歯科健診や成人歯科健診があると思うが、目標や達成率はどうか。 目標値としては、平成36年度までに、50%の受診率としているが、実際は1割程度であり、PRの重要性を感じている。
委員	母子手帳を交付する際の歯科健診を知らせる方法は、どのような形で行っているのか。
事務局	妊娠届提出の際に渡している。A4の紙1枚に必要性を書き、申込書をつけている。その申込書を持って歯科医院へ受診する流れとなっている。
委員	平成27年度の実績は139名の受診であったが、平成29年度は94人で減ってきている。
委員長	母子手帳受取の際はたくさんの書類を受け取ることになる。妊産婦歯科健診の案内もその書類の中に紛れてしまい、見落としてしまう方が多いよう。

委員	実際に歯が悪くなるのは妊娠初期ではなく、もう少し後になってからかと思う。妊産婦歯科健診の利用券を渡す時期をずらすことを検討してもよいのではないかと考える。
委員長	妊婦さんが集まった時には、妊産婦歯科健診の利用券をお渡ししていることをアナウンスするのも良いと思う。
委員	若い方は利用券をつけるとその券は利用しよう、と言う考えがあるようなので、妊婦健診の助成券を利用するように、妊産婦歯科健診の利用券も使ってもらえたら、と思う。
(2) 富士見市の歯科口腔保健の推進について (意見交換)	
委員長	先程の歯と口腔の健康に関する事業の取組状況を踏まえ、委員の各方面・各分野においての取り組みや歯科口腔保健の状況において感じていることなどについて、意見交換を行いたい。
委員	ライフステージ分類のところで、中学生から成人までの間、特に18～20歳の期間が、ステージ分類から漏れてしまっているように思う。
事務局	18～20歳は成人の区分に入るが、この年齢は特に歯科指導等もないため何か取組をしたいと計画している。20歳の成人式であれば、通知の機会があるが、それ以外ではなかなか捉えどころがない。
委員	投票が18歳からできることもあり、セットで考えてもいいかもしれない。
委員長	選挙は毎年ある訳ではないので、今後の課題として、検討していく。
委員	20歳の無料健診ができるといいなと思っている。
副委員長	歯科衛生士さんによるプロとしての歯科保健指導は素晴らしいと思うが、すべての学校に行くのは費用もかかる。そこで、例えば、学校の先生方が歯科保健指導を行えるように研修することについて、校長先生などの理解・協力を得るのはどうか。羽生市の例を挙げると、学校の養護教員をはじめ、先生方が給食後の歯磨きを一緒に磨く中で、歯科衛生士さんに教わったことを繰り返し伝えていくようである。一気にできなくても、取り組めることから行っていく、そうすることで、啓発されていくのだと考える。
委員長	いいことだと思う。
委員	校長会等で話題にしていきたい。
副委員長	時間、場所、意欲が大切。
委員	担任の先生がこどもに指導できるようにしてもらえるといい。
委員	所属するサークルは高齢者のため、時間があり、歯を磨いていると思う。そして、定期的に虫歯はなくても健診に行くように伝えている。健康意識の高い人には、健診の必要性は浸透しているように思う。
委員	意識が高い人には口腔状態が悪い人はいない。意識の低い方に問題を抱えている方が多いので、それをどう拾い上げるかが課題である。
委員	妊産婦歯科健診のことだが、母親学級の時やパパママ準備教室などの機会に歯科健診の受診を確認する等、タイミングをとらえ、PRをしていけると良いと思う。また、他市のことだが、12歳児に虫歯の数が増えてくるということで、取組を強化したということがあった。
委員	富士見市としても、3歳児の虫歯はこれくらいであったが、12歳時になったらどうだった等、データで見えていくと取組むべき内容が見えてくるのではないかと考える。できるところから、始められたら良いと思う。
委員	学校で息子が歯科健診を受けた際、虫歯がある子に対しては受診し、証明書を出すように言われたようだが、歯垢がついていて受診するように言われた子は証明書はいらないとのこと。虫歯でなくても、歯科医院に行き、証明書を

委員長	出すよう言われれば、歯医者に行かなくてもいいと思わないのではないか。学校の健診では治療台のような強い光で診察できないので、100%診ることができない。健診の結果を返す際、虫歯でない場合も、歯科医院に行きましようと考えていく方が良くと思う。
委員	今日は小・中学校の連携やあるいは小学校からの歯磨きの習慣化の大切さという意見があったので、校長会等で話題にしていきたい。
委員長	貴重なご意見ありがとうございました。委員の意見が「富士見市歯科口腔保健推進計画」を推進していく上でとても重要。今後とも計画の進行管理について、ご審議をお願いします。
(3) 今後の予定について	
事務局	平成30年度第2回委員会は、2月6日(水)13時30分からを予定している。予定期日が近づいたら、改めて通知する。
副委員長	富士見市の委員会を設けての取組は素晴らしいと考える。子どもたちや市民につながるようになれば、もっと良いと考える。本日の議論ありがとうございました。以上で、閉会とする。